

津山高校

第4号



関東同窓会だより

総会報告、懇親会、作品展、総会参加者名簿、津山高校ニュース、
活躍する卒業生たち、作州のニュース、
西東三鬼と津山、こんなことやってます、
同窓会役員・常任委員一覧

総会・懇親会 2018

岡山県立津山高等学校関東同窓会
2018年度 総会・懇親会

日時：2018年9月29日(土)
12時～14時30分

場所：霞山会館 37階「霞山の間」

参加者：181名

式次第

【総会】

- 1.開会挨拶
- 2.議長・書記選出
- 3.一号議案
2017年度活動報告・決算報告・監査報告
- 4.二号議案
2018年度活動案・予算案
- 5.三号議案 会則改正
- 6.四号議案 役員改選

【懇親会】

- 開会・能
来賓紹介・来賓挨拶
乾杯
コンサート
和っしょい津山!
写真撮影
校歌斉唱
閉会挨拶

あいさつ

関東同窓会会長 片岡 廣治郎

本日は多くの同窓生の皆さんにお集まりいただきありがとうございます。特に津山からは牧山会長、菱川校長をはじめ応援団の方たちも来られています。重ねてお礼申し上げます。

今回の総会・懇親会は60周年記念同窓会となります。人間でいえば還暦になります。干支が一巡し元の干支に戻り、新しい人生を再スタートする年と言われています。その意味からも、役員人事を大幅に刷新し、新時代にふさわしく女性中心の陣容としました。従って、4期8年に亘って会長としてお世話になりました私は退任し、新たに副会長の増田美子さんに会長になっていただきます。また、新副会長に中島純三さんと水田潤子さん、新監事は泉昭正さんをお願いしました。詳しくは後程提案いたしますのでご承認よろしく申し上げます。

また、西日本豪雨の被災地への義捐金をお願いしたところ、70万円を越す募金が集まりました。さすが津山高校関東同窓会だと思います。早速、日本赤十字社を通じて寄贈したいと思います。誠にありがとうございました。

今年の懇親会は幹事年の平成5年卒業の人たちが中心になって企画しました。記念同窓会にふさわしい内容となっていますので、最後までお楽しみください。



2017年度決算報告・活動報告(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,099,000
年会費	944,000
ご祝儀	60,000
預金利息	25
協賛金	135,000
義捐金	0
その他(寄付金・借入金他)	0
年度実収入計	2,238,025
前年度繰越金	2,941,475
収入合計	5,179,500

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	1,348,208
会議費等	555,939
印刷費等	284,904
通信費等	444,870
ホームページ運営費	8,023
振込手数料(郵便振込)	44,760
受取人払い(返信ハガキ)	42,032
その他(60年記念品・その他)	216,369
年度実支出合計	2,945,105
次年度繰越金	2,234,395
支出合計	5,179,500

2017年度津山高校関東同窓会活動報告

- 05/07 会報第2号編集委員会第6回
- 06/04 会報第2号編集委員会第7回
- 06/25 拡大役員会
- 07/08 総会案内・会報封入作業
- 09/10 拡大役員会
会報第3号編集委員会第1回
- 09/30 2017年度総会・懇親会
- 12/08 忘年会・反省会
会報第3号編集委員会第2回
- 02/24 拡大役員会
会報第3号編集委員会第3回
- 03/31 常任委員会
会報第3号編集委員会第4回

2018年度予算・活動(案)(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,050,000
年会費	950,000
ご祝儀	60,000
預金利息	300
協賛金	150,000
その他(寄付)	50,000
年度実収入計	2,260,300
前年度繰越金	2,234,395
収入合計	4,494,695

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	1,300,000
会議費用	600,000
印刷費等	450,000
通信費等	600,000
ホームページ運営費	10,000
振込手数料(郵便振込)	45,000
受取人払い(返信ハガキ)	45,000
その他(その他)	20,000
年度実支出合計	3,070,000
次年度繰越金	1,424,695
支出合計	4,494,695

2018年度津山高校関東同窓会活動計画(案)

- 05/06 会報第3号編集委員会第5回
- 06/02 会報第3号編集委員会第6回
- 06/23 拡大役員会
- 07/14 総会案内・会報封入作業
- 09/01 拡大役員会
会報第4号編集委員会第1回
- 09/29 2018年度総会・懇親会
- 12月 忘年会
会報第4号編集委員会第2回
- 2月 拡大役員会
会報第4号編集委員会第3回
- 3月 常任委員会
会報第4号編集委員会第4回

義捐金	600,000
-----	---------

義捐金	600,000
-----	---------

会長就任のごあいさつ

関東同窓会会長 増田 美子



【増田美子のプロフィール】

1966年 お茶の水女子大学卒業
 1968年 同大学大学院修士課程修了
 1975年 学習院女子短期大学専任講師
 助教授、教授を経て
 1998年 学習院女子大学教授
 2013年 定年退職、同大学名誉教授
 この間学生部長、大学院研究科
 委員長などの役職及び国際服飾
 学会会長を務める

関東同窓会は昨年60周年を迎えました。この還暦の年に新たな始まりということで、片岡廣治郎会長が退任され、私がその後を引き継ぐことになりました。

5年前に学習院女子大学を定年退職した時、片岡前会長から同窓会を手伝ってほしいとのお声掛けがありました。長年楽しませていただいていた同窓会ですので、私のような者でも何かお役に立つことがあればと、副会長及び同窓会報の発行というお役目をお引き受け致しました。結果として同窓会活動の深みにはまってしまった次第でございます。

昭和33(1958)年に本同窓会が発足した折、その総会において初代会長の矢吹貞夫氏は次のようにおっしゃっています。

作州人は自己心が強い人が多い。しかしやはり、先輩・知人・親友等の応援が必要で
 す。若い者は老人の話を聞き、老人は若い者の意見を聞き、お互いにしっかりと手を握
 り合いましょう。そして母校の発展を図り、ひいてはこの同窓会の集りをもって社会に
 役立とうではありませんか。

先輩後輩の交わり、そしてその中で老若男女に関わりなくお互いに意見を言い合い学
 びあうことが出来るような、同窓会でありたい。創始された大先輩たちの思いを受け継い
 でいくことの大切さを実感するとともに、「社会に役立つ」ということの意味を考えなが
 ら、今後の同窓会活動を進めていきたいと思っております。

新役員紹介

会長 増田 美子 (昭37卒)(新任)
 副会長 竹内 妙子 (昭36卒)
 中島 純三 (昭42卒)(新任)
 水田 潤子 (昭46卒)(新任)
 山本 大 (昭49卒)事務局長
 監事 佐乗 慎二 (昭36卒)
 泉 昭正 (昭37卒)(新任)
 顧問 片岡 廣治郎(昭35卒)(新任)

岡山県立津山高等学校関東同窓会会則(抜粋) 2018.9.29改正

- 1.本会は、岡山県立津山高等学校関東同窓会と称し、略称として津山高校関東同窓会を用いる。本会の設立は、1958年5月26日である。
- 2.本会の所在地は、東京都豊島区池袋2-57-2である。
- 3.本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に助力することを目的とする。
- 4.本会の会員は、原則として岡山県立津山中学校・同津山高等女学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校を卒業した者、及び各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者とする。
- 5.本会の会員は、所定の会費(2,000円)を納入するものとする。
- 6.本会には、次の役員及び常任委員をおく。
 (ア)役員
 会長 1名 副会長 5名以内 事務局長 1名 監事 2名
 (イ)常任委員
 原則として各期男女各1名ずつ
- 7.会長は、必要に応じて若干名の総務担当委員を任命することができる。総務担当委員は事務局に所属し、庶務・会計等の業務を担当する。
- 8.本会は、必要に応じて顧問をおくことができる。顧問は、役員会の推薦による。
- 9.役員・常任委員・総務担当委員及び顧問の任期は2年とする。ただし、重任を妨げない。
- 10.本会の会議は、総会、役員会、拡大役員会及び常任委員会とする。
- 11.総会は年1回の通常総会と臨時総会とし、臨時総会は必要に応じて開く。
- 12.本会の経費は、会費・協賛金及びその他の収入をもってあて、会計年度は4月1日より始まり、翌年3月31日に終わる。
- 13.本会則の改正は、総会の決議により行う。



44期幹事あいさつ

平成5年(44期)卒業生は「紡ぐ」をテーマに、世代を超えた絆をつなぎ、広げることを目指してきました。懇親会に先立ち流された、幹事による津山高校ドローン空撮ほか津山の今昔の映像もその一つ。映像で故郷や母校への思いを馳せていただき、懇親会は能「高砂」の謡と小鼓で開幕。アルバムデビューした村瀬統也氏(44期)と女優の大嶺美香氏のデュオ「シクスシクス」のコンサートで盛り上がった

会場は、44期津山・関東メンバーによる総踊り「和っしょい!津山」で一つになりました。「作州クイズ抽選会」では作州、津高にちなんだ問題を出題、在校生や同窓生作成の景品を提供し、楽しんでいただきました。今後とも関東同窓会が絆を深める場として発展することを願っています。

<44期幹事一同>

総会・懇親会 2018

幹事お疲れ様でした！



色々な人のお話が聞けてとても勉強になりました。



関東同窓会新役員：
 増田美子 中島純三 水田潤子 泉昭正
 会長（昭37卒） 副会長（昭42卒） 副会長（昭46卒） 監事（昭37卒）

津山市長挨拶：
 谷口圭三氏
 （昭56卒）

乾杯の挨拶：
 押阪忍氏 津山
 （昭28卒）

SOPromotion
タレントキャスティング/番組制作/トークアカデミー

代表取締役会長
押阪 忍 (フリーアナウンサー)
 shinobu oshizaka
 e-mail so-so@theia.ocn.ne.jp

47th

株式会社 エス・オー・プロモーション
 〒107-0062 東京都港区南青山5-4-35 たつむら青山ビル707
 tel 03-3406-1661 fax 03-3406-1426
 URL www.so-pro.co.jp

昭和 28 年卒

MTE 守谷輸送機工業株式会社

顧問 **安 東 穆**

守谷エレベーター
 〒104-0082 東京都中央区八丁堀 3-12-8
 TEL 03(6228)3460代
 FAX 03(6228)3350

ISO 1006

昭和 35 年卒

NHK 会友
中村 宏
 津山高校いざよう会 (11期)

昭和 35 年卒

総会・懇親会 2018

今日は本当に楽しかったです。



お世話になりました。とても良い同窓会でした。



参加出来て本当によかったです。



皆で熱唱した校歌にうると来ました。

※ 吹き出しのコメントは関東同窓会のFacebookのページに寄せられた参加者のコメントから抜粋しております。

小林邦江税理士事務所

税理士 小林 邦江

〒224-0055 横浜市都筑区加賀原1-24-1-203
TEL 045(943)4721
FAX 045(943)8107
E-mail:kobaku@kch.biglobe.ne.jp

昭和 35 年卒

一般社団法人 進化経営学院

創設の辞
逆境練機 転原自在
経営進化 互惠共榮

代表理事 黒田悦司

〒311-3508 茨城県行方市沖洲1543-10
☎ 0299-57-0377
URL <http://rinen.gr.jp/>

昭和 37 年卒

空調周辺機器総合メーカー
UCAN UCAN CO.,LTD.

代表取締役
安藤 馨

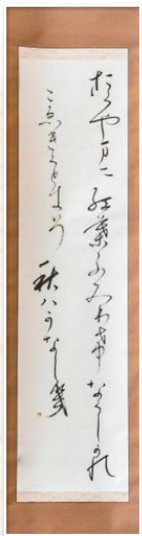
ユーキャン株式会社 加温器、全熱交換器、ドレン処理機

本社
〒193-0832 東京都八王子市散田町5-6-19
TEL042-665-8846 FAX042-661-3887
携帯電話 090-3192-2631
URL <http://www.ucan.co.jp/> E-mail: i_ando@ucan.co.jp

昭和 39 年卒

作品展 2018

絵画・水墨画・書道・陶芸・写真等、同窓生の作品が展示されました。



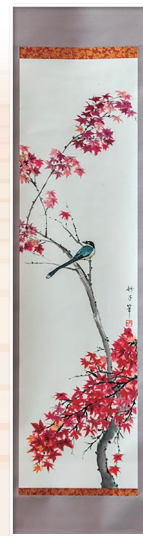
菊池 芳子
昭31卒



菊池 芳子
昭31卒



松井 陽子
昭46卒



竹内 妙子
昭36卒



竹内 妙子
昭36卒



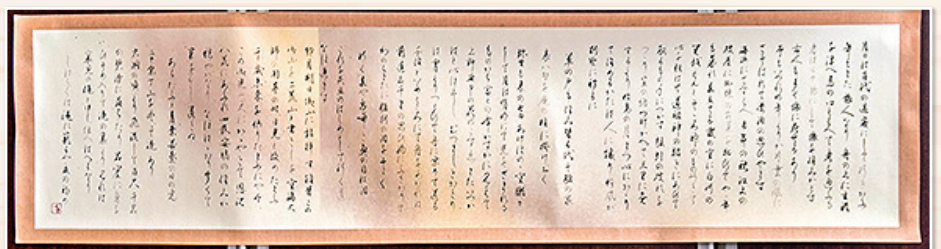
片岡 廣治郎 昭35卒



寺坂 拓亜 昭35卒



佐桑 慎二 昭36卒



小原 幸恵 昭48卒

2019年の総会にも作品展を開催します。どうぞ皆様ご出展ください。

カフェ・バー
GORI

藤本 宣
礼子
東京都新宿区新宿 1-17-11 大洋ビル 1F
TEL. 03-3353-1294

昭和 41 年卒

東海大学校友会館 藤が関ビル 35階
The Tokai University Club

取締役会長
後藤 俊郎
学校法人東海大学 理事 評議員
東海大学学園校友会 会長

株式会社 霞ヶ関東海倶楽部
東京都千代田区霞が関3-2-5 (03)3581-0121(代表)
霞が関ビル35階 〒100-6035 (03)3581-0129(FAX)
e-mail:gon@tokai35.jp https://www.tokai35.jp

昭和 41 卒

株式会社 **オアシスMSC**

会長
佐田通明

〒157-0065
東京都世田谷区上祖師谷6-1-9

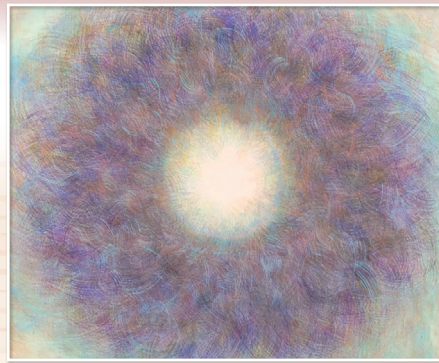
昭和 41 卒



早瀬 有里 昭63卒



早瀬 有里 昭63卒



河本 倫子 昭54卒



保田 扶佐子 昭36卒



水田 潤子 昭46卒



中務 貫二 昭31卒



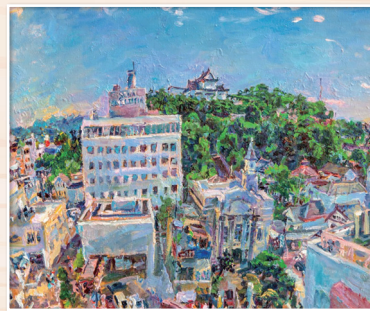
中務 貫二 昭31卒



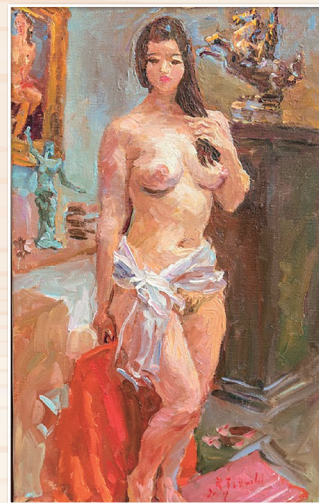
岡本 玲子 昭36卒



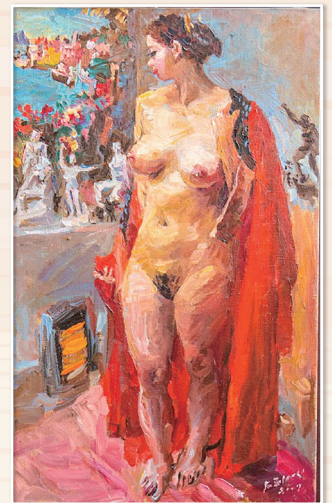
岡本 玲子 昭36卒



田淵 隆三 昭35卒



田淵 隆三 昭35卒



田淵 隆三 昭35卒

出品者一覧

作者名 (本名)	卒業年	種別
中務貫二	昭31	水彩画
菊池芳子	昭35	百人一首(掛け軸)・詩文(掛け軸)
片岡廣治郎	昭35	陶芸
寺坂拓垂	昭35	陶芸
田淵隆三	昭36	油絵
保田扶佐子	昭36	抽象画
竹内紅妙 (竹内妙子)	昭36	彩色水墨画

作者名 (本名)	卒業年	種別
岡本玲子	昭36	油絵・うちわ
佐柴慎二	昭36	写真
松井陽水 (松井陽子)	昭46	水墨画
水田潤子	昭46	デコラティブアレンジメント
小原香藍 (小原幸恵)	昭48	書道
河本倫子	昭54	抽象画
早瀬有里	昭63	不透明水彩画

明治大学 教授

工学博士 坂上恭助

〒214-8571
理工学部建築学科建築設備研究室
川崎市多摩区東三田1-1-1
TEL/FAX : (044)934-7380
E-mail: sakaue@isc.meiji.ac.jp

昭和 43 年卒

青山学院大学
Aoyama Gakuin University
経営学部長
経営学研究科長

教授 三村 優美子

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL 03-3409-7767
FAX 03-3409-9424
E-mail: mimura@busi.aoyama.ac.jp

昭和 44 年卒

小林・福井法律事務所

弁護士
小林 元治

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目12番6号
コアロード西新宿203号
TEL : 03-3343-6088 (代表)
FAX : 03-3343-3395
E-mail : m.kobayashi@kobafuku-law.jp
URL : http://www.kobafuku-law.jp

昭和 45 年卒

総会・懇親会参加者名簿 2018 (敬称略)

来賓

昭38卒	津山高校同窓会会長	牧山 政雄
昭45卒	津山高校同窓会副会長	山本 俊彦

昭49卒	津山高校同窓会監事	河村 あいこ
昭45卒	津山高校同窓会事務局	秋山 貴

昭53卒	津山高校校長	菱川 靖人
	津山高校教頭	甲本 龍平

会員

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
昭28	押阪 忍	昭35	馬場 史郎	昭39	梶谷 幹男	昭48	安東 弘倫	昭60	河原 敏朗	平5	木村 暢恵
昭28	能勢 恵美子	昭35	藤田 康二	昭39	吉田 節子	昭48	大月 隆行	昭61	芦田 将	平5	佐川 徳子
昭31	額田 克海	昭35	本城 宏基	昭40	岡田 泰子	昭48	小原 幸恵	昭61	黒田 俊恵	平5	鈴木 美央
昭31	菊地 芳子	昭35	吉岡 敏子	昭40	草地 八寿郎	昭48	永松 呉葉	昭61	山崎 聡	平5	高主 健吾
昭31	直原 正	昭36	井上 文孜子	昭41	赤木 省三	昭49	田村 勝彦	昭63	小山 将良	平5	田村 美加
昭31	白岩 良一	昭36	太田 宏	昭41	鶴澤 成子	昭49	山本 大	昭63	繁定 正典	平5	塚田 朝子
昭31	隅田 憲平	昭36	岡本 玲子	昭41	大原 嘉恵	昭50	田和 一樹	昭63	早瀬 徹	平5	久常 健
昭31	谷口 八重子	昭36	城戸口 紘	昭41	梶 京子	昭50	堤 康人	昭63	早瀬 有里	平5	村上 智之
昭31	中澤 真弓	昭36	頃安 健司	昭41	佐田 通明	昭50	山田 雅義	平2	額田 一	平5	村瀬 統也
昭31	中務 貴二	昭36	近藤 達也	昭41	清水 義昭	昭50	渡部 恭子	平3	谷口 聡	平5	山根 尚徳
昭31	米井 祥男	昭36	佐栞 慎二	昭41	竹下 敦子	昭51	植山 起佐子	平4	日下 康幸	平5	山本 隆義
昭33	小倉 万智子	昭36	佐藤 恭子	昭41	福田 卓三	昭51	小田 由美	平4	國井 美由紀	平6	形山 竜之輔
昭33	門脇 トヨ	昭36	竹内 妙子	昭42	天池 恵	昭51	船本 温子	平4	花村 浩二	平6	井上 昭徳
昭33	坂手 彰	昭36	田中 とき子	昭42	安藤 三男	昭53	小泉 伊穂美	平4	宗政 貴典	平6	高山 裕介
昭33	椎木 将盛	昭37	浅沼 暢子	昭42	金本 正行	昭53	山口 ゆりか	平5	森 智美	平6	春名 伸昭
昭33	福原 毅	昭37	泉 昭正	昭42	桜井 康恵	昭54	松田 匡司	平5	徳田 泰二	平6	日神山 晃一
昭34	瓜生 貴太郎	昭37	大森 慎	昭42	中島 純三	昭54	河本 倫子	平5	半杭 真里子	平10	仲井 寛明
昭34	塚原 淳一	昭37	黒田 悦司	昭42	堀内 慎一	昭54	佐竹 秀夫	平5	山口 美智穂	平10	羽場 康弘
昭35	安東 穆	昭37	斉藤 正子	昭43	黒瀬 英夫	昭54	美土路 活男	平5	荒井 三保	平11	小谷 匠平
昭35	片岡 廣治郎	昭37	須田 隆夫	昭46	井家上 進	昭56	為本 吉彦	平5	有田 ゆかり	平11	内田 芳裕
昭35	高本 征治	昭37	土屋 リエ子	昭46	植月 雅文	昭56	野田 雄三	平5	石井 貴朗	平14	宮島 聡子
昭35	小林 邦江	昭37	中林 さつき	昭46	大河原 優子	昭57	谷口 圭三	平5	磯田 暁男	平19	佐藤 奈々絵
昭35	田淵 隆三	昭37	能勢 和男	昭46	松井 陽子	昭59	有本 和雄	平5	大竹 博之	平22	西本 卓司
昭35	寺坂 拓亜	昭37	増田 美子	昭46	水田 潤子	昭60	浅尾 保則	平5	河田 哲		
昭35	中村 宏	昭37	山本 茂樹	昭47	原 雅彦	昭60	大谷 俊典	平5	菅田 浩司		

学生

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
平27	日笠 比咲子	平27	河原 正明	平27	森西 寛明	平28	藤田 太郎	平29	森西 清華	平30	高橋 彰人
平27	今井 暉人	平27	光井 一輝	平28	中西 啓	平29	笹井 健司	平30	内田 充紀	平30	早瀬 雄大

44期 45期津山京阪神参加

卒業年	氏名
平5	青野 祥子
平5	江原 恵美子
平5	兼安 文枝

卒業年	氏名
平5	黒瀬 有史
平5	黒瀬 明生
平5	直本 ちあき

卒業年	氏名
平5	須江 健治
平5	鈴鹿 雄平
平5	瀬島 佳子

卒業年	氏名
平5	高柳 典子
平5	立石 寿徳
平5	濱野 浩二

卒業年	氏名
平5	本郷 雅之
平5	森 真一
平6	光岡 宏文



クバリーホーム
代表取締役
井家上 進
Susumu Ikegami

株式会社 新昭和FCパートナーズ
〒299-1144 千葉県君津市東坂田4-3-3
TEL 0439-50-3371 FAX 0439-50-3373
E-mail:susumu.ikegami@shinshowa.co.jp
http://www.cleverlyhome.com



日本フットボール協会
正会員

昭和 46 年卒

かふえ花音

江田実子

〒708-0046 津山市西今町 64 tel.0868-35-2919
8:00~18:00(水曜日休み)



昭和 48 年卒



代表取締役会長
OTSUKI TAKAYUKI
大月 隆行

自然と文化のインターフェイスへ
ランデス株式会社

本社/岡山県真庭市開田630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1141(代) FAX 0867-52-3515
https://www.landes.co.jp
e-mail:t-otsuki@landes.co.jp



第17回 国土技術開発賞 入賞

昭和 48 年卒

母校からの思い

岡山県立津山高等学校前同窓会事務局長 常勤講師 秋山 貴

津山高等学校関東同窓会の皆様こんにちは。今回、関東同窓会会報誌への寄稿は、津山高校同窓会前事務局長の秋山がいたします。私は平成9年から津山高校教諭として20年間勤務いたしました。一昨年で職を退きましたが、その間平成18年から28年までの10年間、同窓会事務局長として同窓会の企画運営に携わってきました。今は、常勤講師として、再度勤務しています。ですから通算して22年勤務していることとなります。

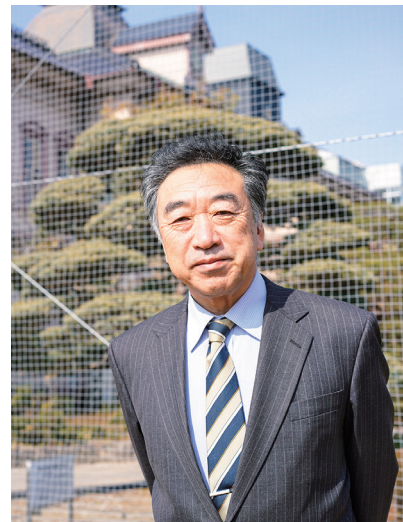
22年を振り返ってみますと、赴任したばかりの平成9年のころは、ちょうど今の新校舎の建築の最中で、職員室は日本館の二階で、本館として現役で使っていました。南校舎もまだありました。新しい校舎は、東と南の半分が完成しましたが、グラウンドにはまだプレハブ校舎が建っていて、普通教室として使用していました。翌年にはやっと西校舎と北校舎が完成し、今の津山高校の形が完成しました。しかし、完成が半年も遅れました。それはなぜかと言うと、津山高校の敷地は遺跡だらけだからです。十六夜山は前方後円墳、グラウンドは奈良時代の墳墓、旧武道場から北西の方向には、江戸初期の武家屋敷・・・と、ちょっと何か工事をするにも、まずは遺跡調査から始まります。



それから、昭和37年の岡山国体のために建てられた体育館が取り壊され、プールの跡地に新体育館が完成しました。それに伴ってテニスコートの南側に、運動部部室も整備

されました。旧武道場を取り壊し新武道場もできました。

平成27年から津山中学校が併設で開校し、昨年には、中学校の体育館がテニスコートの一角に完成しました。それと平行して、旧図書館の解体、その跡地にハンドボールコートが完成しました。そして、来年度からの工事になりますが、80周年記念館の全面改修工事がはじまります。食堂であったところ



(今は、中学校の技術室として使用)や音楽室ホール、準備室、合唱部の部室、練習室などすべてリノベーションされる予定です。22年間、津山高校の変遷の姿を一部始終を見てきました。大きな出来事がいっぱいありました。津山高校は、絶えず変化してきています。しかし、変わらずあるのは国の重要文化財である日本館です。校舎は変わっていても、日本館だけは、いつも私たちを見守ってくれています。もう一つ懐かしいものが残っています。それは、東校舎前の「かいづかいびき」です。これは、前校舎の間に植えられていたものが移植されました。

これからも、母校津山高校への思いを強く抱いていただき、支えとしていただけたらありがたいと思います。

過去3年間の関東を中心とした主要大学合格者数

国公立	東北	群馬	筑波	東京	東京学芸	東京外大	千葉	東京工業大	信州	首都大東京	静岡	名古屋	京都	大阪	神戸	岡山	広島	鳥取	島根	香川
平成29年		1		3	1	1	1		1		5		4	6	5	33	3	16	13	8
平成30年	1		2	4			1		1	1	4	2	4	2	4	32	7	8	9	17
平成31年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1		1	5	3	32	5	7	8	7
私立	青山	慶応	上智	東海	法政	東京農大	明治	立教	早稲田	関西学院	関西	同志社	立命館	近畿	私立合計	徳島	愛媛	九州	国公立合計	
平成29年		1		2	1	1		1	8	7	22	22	30	25	378	11	10	6	180	
平成30年	2	1		8	1	6	6	2	5	9	12	17	21	31	326	6	3	4	156	
平成31年	2	1	4		3	7	4	1	5	11	19	12	22	70	407	5	9	6	152	

社会福祉法人 江原恵明会

理事長
江原 秀国

〒708-0884 岡山県津山市津山口 306
TEL:0868-23-2738

昭和 49 年卒

取締役
第1事業部長
山田 雅義

ハヤシレピック株式会社
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-28-3
Tel:03-3918-5623 Fax:03-3918-5683
E-mail:m-yamada@h-repic.co.jp
www.h-repic.co.jp

取締役
第1事業部長
山田 雅義

ハヤシレピック株式会社
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-28-3
Tel:03-3918-5623 Fax:03-3918-5683
E-mail:m-yamada@h-repic.co.jp
www.h-repic.co.jp

昭和 50 年卒

額田・井口法律事務所

額田 洋一

NUKADA & IGUCHI Law Office

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15
近代科学社ビル 6階
TEL : 03-3267-3201 FAX : 03-3267-3202

昭和 50 年卒

時代の変化のなかで “変わらないもの”を大切に

三村 優美子 氏
(昭和44年卒)



プロフィール

昭和44年 津山高等学校卒業
昭和48年 慶応義塾大学商学部卒業
昭和55年 慶応義塾大学大学院商学研究科博士課程修了
(平成3年 商学博士)
昭和55年 社団法人流通問題研究協会主任研究員
昭和59年 国際商科大学(現東京国際大学) 商学部助教授
平成3年 東京国際大学商学部教授
平成8年 青山学院大学経営学部教授

津山高校を卒業し故郷を離れてから約50年が経過しました。東京生活がはるかに長くなったのですが、東京の大学に入学するため故郷を離れた日、津山駅のホームに見送りに来てくれていた祖母や母、友人の姿を懐かしく思い出します。津山駅前には改装されましたが、ホームから眺める景色は変わらず、時間の流れを忘れさせてくれます。

今年で私の大学教員生活は一区切りとなり最後のゼミ生を送り出します。私は一貫して日本の流通・商業(卸、小売業)研究をやってきました。この研究テーマに出会ったのは、大学のゼミナールの指導教授であった村田昭治先生(慶応義塾大学名誉教授、故人)から、日本でマーケティングを研究するのであれば流通の知識は欠かせないとアドバイスされたことがあります。大学院を経て現場の経験が大切として旧通商産業省の流通政策に関わる調査をしていた小さな研究所(社団法人流通問題研究協会)で修業しました。当時、アメリカ仕込みのマーケティングを看板にして人気であった村田先生がなぜ流通研究の重要性を指摘されたのか。マーケティングに内在する矛盾に気づかれていたのではないかと思います。

マーケティングは、広告(現在ではSNSも含む)、新製品開発、そしてブランド構築と一見すると華やかな世界であると受け取られがちです。しかし、マーケティングは、従来の商取引構造を変え、流通制度を破壊していくインパクトを有しています。消費者志向という言葉は美しいのですが、その背景に展開されている競争の激しさは想像以上です。

私が流通研究を開始したのはちょうど日本の高度成長が終焉したときでした。市場の拡大がなくなったとき隠れていた矛盾や摩擦が表面に出てきたのです。流通問題研究協会での調査の多くは、大店法(大規模小売店舗法)規制と大型小売業の出店摩擦に関する事案でした。大店法はすでに廃止され(2000年)現在はまちづくりを主軸とする政策体系に移行していますが、当時は大型小

売業の出店競争に悲鳴を上げる地域の小売業者が出店規制強化を求める運動を展開していました。車の普及そして郊外開発が当然であった時代、古い商店街が崩れていくのを止める論理も方法もありませんでした。調査した多くの都市は城下町でした。車に対応しにくい城下町特有の構造が郊外化の影響を受けやすくさせたといえます。津山も例外ではありません。しかし多くの大型小売業が競争の中で消えていったことは周知のとおりです。空洞化したまちなかだけが残されました。

ただ、2010年代に入り社会の価値観は大きく変わっています。里山のゆたかさ、地産地消、地域社会の繋がり、伝統と文化など目に見えない資産の大切さに気づいたのです。最近、津山の周辺の“田舎”の美しさを感じています。春に山桜やこぶしの咲く里山、水やお米の美味しさは格別です。時代の流れに翻弄されることなく、津山のもつ潜在力をどう生かすか、どう伝えていくか知恵が問われていると思います。



ゼミの教室風景

努力の天才になれ！

佐古 彰彦 氏

(昭和46年卒)



昭和51年、23歳の僕はTVCMディレクターとしてデビューしました。デビュー作は、当時無名だった藤谷美和子を起用したカルビーポテトチップスのCM。「百円でカルビーポテトチップスは買えますが、カルビーポテトチップスで百円は買えません。あしからず！」という台詞で話題にもなり、その年の全日本CMコンクールで初受賞。

ただ、決して最初から順風満帆ではありませんでした。というのも僕は美術大学でグラフィックデザインを専攻していましたが、第一次オイルショックの影響で超就職難。唯一、就職試験に受かったのがCM業界で、CMディレクターは全くの専門外でズブの素人。そもそもCMディレクターがどんな仕事なのかも知らず、ましてやCM制作の中心になる絵コンテ（アイデアや演出プランを絵に描いたもの）という言葉も知りませんでした。入社後のアシスタントディレクター時代にK先輩から「今、俺が担当しているカローラのCMのアイデアを考えてみる」と。CMのアイデアをゼロから考えたことがなく悪戦苦闘。

ほぼ4日間徹夜をして考えた自信の3案をK先輩に見せたところ、「誰も考えたことがないのがアイデアだ」「CMはアイデアが全てだ」「学生の広告研究会レベル以下だ」と散々と怒られ、更に苦勞して考えた絵コンテを目の前でビリビリに。完全に自信喪失。数日後、落ち込んでいる僕を見たK先輩が「この会社には天才と言われるCMディレクターが多くいるが、佐古は決して天才じゃない。だから努力の天才になれ！」とアドバイス。努力という言葉は知っていましたが、「努力の天才」という言葉は初めて聞いたので、僕は目から鱗でした。

それからは自分に甘えることを止め、誰も考えたことのない事を考える難しさの余り、胃痛で通院。アパートに帰る時間も惜しくて、何日も会社に泊まり込む事も度々。アイデアが全く出ない夢を見ては、恐怖の余り寝小便まですることも。まさに、産みの苦しみを味わいました。そんな努力を続ける中で、全身の血が熱

プロフィール

昭和46年 津山高等学校卒業（弓道部・美術部所属）
 昭和50年 武蔵野美術短期大学グラフィックデザイン科卒業
 昭和50年 (株)日本天然色映画 企画演出部入社
 昭和51年 CMディレクターとしてデビュー
 昭和56年 (株)CMランド入社
 昭和60年 フリーランスのCMディレクターに
 平成元年 (有)佐古彰彦事務所 設立。

「出版歴」

昭和60年 絵本「コアラ君のこまった日記」グラフィック社刊
 平成7年 旅行記「菜々ちゃん、少し休もうか」富山房刊

くなるアイデアが出た時は「努力の天才になれ」の意味が少し分かった気がしました。

その後は、記憶に残るCMを800本以上も企画・演出することが出来、田村正和さんや西田敏行さん、麻生久美子さん、上戸彩さんなど沢山のタレントの素晴らしい演技と出会い、そして数々の賞も頂きました。今では、この仕事が天職だと思います。

CMディレクターとして、今年で43年目。あの時のK先輩の「努力の天才になれ！」という言葉がなければ、今の僕は存在していないと思います。先輩の恩に報いる為にも、まだまだ現役で頑張らなければと考えています。



作州のニュース

こ～んなん できとんで!!



▲津山まなびの鉄道館 提供

津山まなびの鉄道館 津山市大谷 TEL:0868-35-3343

津山線の歴史は古く、1898年(明治31年)12月21日に開通、初代津山駅が終着駅でした。1923年(大正12年)8月21日に現在の津山駅が開業し、初代津山駅は津山口駅と改称。2018年(平成30年)には津山線開業から120周年を迎えました。

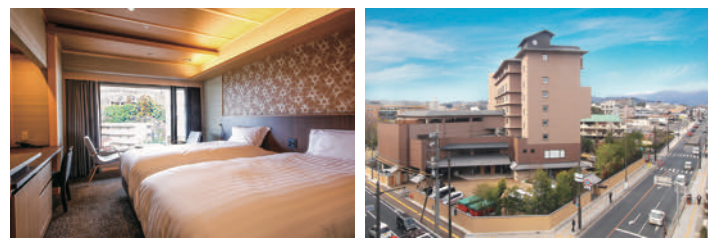
1936年(昭和11年)姫新線の全通にともなって、津山駅の西側に旧津山扇形機関車庫と転車台が設置され、SL全盛時代の象徴に。機関車庫の活用は、その後一時中断を経て、2016年(平成28年)4月2日、鉄道文化を紹介し次世代に伝える「津山まなびの鉄道館」として新装オープンしました。機関車収容線数17は京都の「梅小路機関車庫」に次いで現存2番目の規模で、現在D51形蒸気機関車をはじめとして13両が収蔵されています。2019年(平成31年)3月3日来訪者20万人を達成しました。

機関車庫と転車台の他、まちなみルーム(津山市と因美線のジオラマ)、あゆみルーム(岡山の鉄道の歴史)、しくみルーム(構造の体験)などの展示があり、開館日の12時と15時にはD51の汽笛の吹鳴や1時間毎にジオラマショーが見学できます。「旧津山扇形機関車庫と転車台」は2018年10月14日にJR西日本から「鉄道記念物」に指定されています。

ザ・シロヤマテラス津山別邸 津山市山下30番地1 TEL:0868-24-2111

2019年2月27日に新しいホテルがオープン!

場所は旧津山国際ホテルから西に80mの鶴山通りに面した一角。津山城跡を望める露天風呂テラス付き特別客室、カジュアルな客室、ドッグフレンドリールームなど、11タイプ65の客室があり、その他、露天風呂付き大浴場、地元の食材を生かした料理をサービスするレストラン、ビュッフェ、ガーデンラウンジがあり注目されています。和風の趣のある美しい外観で、鶴山公園や付近の記念館、銀行などの建物と調和していて、津山城下町の新しいランドマークになるでしょう。



▲ザ・シロヤマテラス津山別邸 提供

津山高校時代に通学路だった鶴山通り、卒業後に同窓生と集まった旧国際ホテルやお城山のあるこの一帯を懐かしく想われる関東同窓生は多いはず。鉄道館は子どもたちが見て、さわって、楽しく「まなべる」が目標とのこと。訪れる人も、子どもたち、女子学生グループ、大きなカメラを持った鉄道マニアと多彩でした。新しい街並み、新しい人の流れを実感できるのではないのでしょうか。(昭48卒 永松呉葉)

不動産税務 相続税務 節税に強い
新日本税理士法人
日本橋支店長
税理士 松田 匡司

〒103-0027 (東京・日本橋)
東京都中央区日本橋1-2-10 4F
TEL 03-6262-0797
http://www.souzokuzei-soudan.jp/
E-mail: matsudamasashi@shinnihontax.com

昭和54年卒

法学部教授
体育会剣道部長
博士(法学)
神橋 一彦
Kambashi Kazuhiko

Lead the Way

立教大学
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
Tel. 03-3985-2542 Fax. 03-3983-0174
E-mail: kambashi-k@rikkyo.ac.jp

昭和58年卒

UNAGI DESIGN OFFICE

字那木デザイン室
字那木孝俊 (42歳)

企画制作を
いたします。

ブックデザインや
ロゴマークの制作、
パンフレットや
カレンダーの
制作

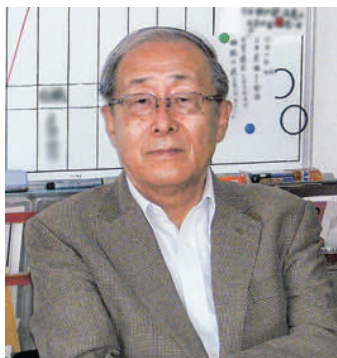
mail ▶ info@unagi-design.com
URL ▶ http://unagi-design.com/

平成3年卒

西東三鬼と津山

佐々木 建成 氏

(昭和30年卒)



プロフィール

昭和30年 津山高等学校卒業
 昭和35年 東京大学法学部卒業
 昭和35年 運輸省(現国土交通省)入省
 平成2年 運輸省地域交通局長
 平成3年 日本開発銀行(現日本政策投資銀行)理事
 平成5年 新東京国際空港公団副総裁
 平成10年 運輸省運輸審議会委員
 平成17年 財団法人気象業務支援センター会長
 平成18年 財団法人日本ナショナルトラスト理事長
 平成20年 天穹俳句会副主宰
 平成21年 天穹俳句会主宰(現在に至る)
 現在 津山市観光アドバイザー会議委員

父のごとき夏雲立てり津山なり 西東三鬼

この句が刻まれた碑が、平成29年3月、市教育委員会や地元文芸団体等で構成される西東三鬼賞委員会の手で建立され、お披露目が行われました。この句は幼少時に父を亡くした三鬼の父恋いの句とされています。今ではこの句碑はJR津山駅北口広場の抜本的整備に併せて駅前新しいシンボルとしての役目を果たしていることでしょう。

地域おこしに熱心な津山市は、その大きな柱として観光客誘致に取り組んでいますし、私も観光アドバイザー会議委員として意見を聴かれることがあります。

津山出身の西東三鬼は、いうまでもなく新興俳句の旗手として昭和の時代の輝かしい存在でしたし、今でも色褪せない魅力が感じられます。私は長い間「天穹」という東京の俳句結社の主宰を務めていますが、平成29年に創立20周年記念大会・祝賀会を開催するに当たり、西東三鬼の業績について記念講演を引き受けることになりました。そのため1年前からこれまでの三鬼論に関する書物に目を通すとともに、津山に帰り津山市郷土博物館にお願いして、三鬼のご遺族が寄贈された「京大俳句」などの雑誌、自筆のデッサン、句を焼いた皿、シンガポール時代のゴルフ優勝のビールジョッキなどを見せて頂きました。また、改めて三鬼の菩提寺の成道寺の墓所にお参りするとともに、生家跡の「枯蓮」の句碑、文化センター前の「花冷え」の句碑、江原さんの家の「柿」の句碑、更には宮川の城北橋の飾り欄干に刻まれた三鬼と安東次男の句などを見て回り準備をしました。

三鬼は師にも付かず作句を始めてからわずか2年弱で開眼の句であり、新興俳句の代表作でもある「水枕ガバリと寒い海がある」を発表し専業俳人を驚かせました。その後も次々と他に類を見ない先鋭的な絢爛たる句を発表しました。昭和15年には「京大俳

句」事件に巻き込まれ治安維持法違反の容疑で検挙され、句作を中断する憂き目を見ています。しかし戦後句作を再開するとともに、現代俳句協会の設立や時を置いて俳人協会の設立にも役割を果たしました。また山口誓子を擁して「天狼」を創刊しています。このような活躍は俳壇の垣根を越えて多くの人が評価しているところ です。

紙面の制約がありますが、私の好みの句を少し挙げますと

「算術の少年しのび泣けり夏」「緑蔭に三人の老婆笑へりき」「中年や独語おどろく冬の坂」「おそるべき君等の乳房夏来り」「みな大き袋を負へり雁渡る」「露人ワシコフ叫びて石榴打ち落す」「広島や卵食ふとき口うごく」「秋の暮大魚の骨を海が引く」

などです。津山市が観光客の誘致に三鬼という観光資源を一層活用されるよう期待しています。



▲墓碑は西東三鬼の菩提寺・成道寺にあり「水枕ガバリと寒い海がある」と刻まれている

西東三鬼:本名は齋藤敬直(さいとうけいちよく)。岡山県苫田郡津山町大字南新座(現在の津山市南新座)に生まれる。1900年(明治33年)~1962年(昭和37年)津山中学校、青山学院中等部、日本歯科大学専門学校を経て歯科医を開業。33歳の時、歯科医だった三鬼は患者達のすずめで俳句を始める。この時から使用したペンネームが「三鬼」で「サンキュー」をもじったものといわれている。

一緒に、サクセス!
Woman's カレッジ
 <経営支援サービス>

株式会社 ウーマンズカレッジ
 代表取締役社長 日下 ゆりあ

〒103-0013
 東京都中央区日本橋人形町 1-10-3
 スクエアコート日本橋人形町11F
 TEL: 03-3668-3030 FAX: 03-6231-1503
 MOBILE: 080-3764-3113
 E-MAIL: kusaka@womans-c.com
 http://www.womans-c.com

平成3年卒

午後十一時営業
中島病院

院長 中島 弘文

〒708-0052
 津山市田町122
 電話(0868)22-8251
 g-naka@ra3.so-net.ne.jp

平成4年卒

Marco Polo Japan
 海外イベントチケット

代表取締役
花村 浩二

有限会社マルコポーロジャパン

〒136-0071 東京都江東区亀戸8-26-5-1405
 TEL:03-5628-3822 FAX:03-5628-3823
 Mobile: 090-1998-1773
 URL: http://www.mpj-ticket.com
 E-mail: rubsoul@mpj-ticket.com

平成4年卒

寄稿 「こんなことやっています！」

「日本民家園」で遊ばませんか

プロフィール

鏡野町出身。高校時代は英語部
昭和40年滋賀大学経済学部卒業
同年三井海上火災保険株式会社(当時大正海上 現三井住友海上)
に入社、損害調査部門と人事部門を歩む
取締役中部本部長、常務執行役員関西本部長などを経て
同社グループ企業のシンクタンク株式会社MSK基礎研究所
代表取締役社長に就任
平成18年より株式会社華鐘コンサルティングの代表取締役
趣味はゴルフ、スキー、バードウォッチングなど



近藤 達也氏
(昭和36年卒)

私は今から44年前の昭和50年に関西から東京に転勤になり、それ以来川崎市に在住しています。現在籍を置いている会社の役職は非常勤のため時間にゆとりがあるので、平成18年から「川崎市立日本民家園(以下日本民家園)」でボランティア活動を続けています。

日本民家園は小田急向ヶ丘遊園駅から徒歩13分ほどのところにあり、昭和42年に川崎市が設立した古民家博物館です。約1万坪の敷地に全国から25棟の江戸時代の古民家を移築して保存展示をしています。内8棟は国の重要文化財に指定されており、その他も文化財的価値の高い建物ばかりです。これほど充実した古民家博物館は国内では他に例を見ません。年間約12万人の入園者があります。

古民家は往時の庶民の暮らしを物語る貴重な文化財ですが、木造・茅葺の建物で築後2、3百年も経っておりその保存にはとても手間がかかります。それには建物にある囲炉裏で火を焚くことによって茅葺屋根と木材を燻蒸することが欠かせませんが、その作業のためには多くの人手が必要です。そこで平成6年にボランティア団体「炉端の会」が発足しました。全くの無報酬ですが現在会員数は約280名、神奈川県内では最大級のボランティア団体に成長しました。今では火焚きだけでなく薪割り、園内ガイド、障子張り、草花を植える環境整備、広報活動など多彩な活動を組織的に繰り広げています。私は推されて平成24年から2年間会長を務め会の活動の充実に貢献することもできました。そしてうれしいことに平成26年には会に対して市長から「川崎市文化賞」が贈られました。

皆さんは日本民家園をご存知でしょうか。意外にも近隣の関東在住の方で知らない人が多く実にもったいない気がいたします。園内は樹木と古民家が調和し四季折々素晴らしい風情です。そして年間を通じて多彩な文化的な催しも行っていますので是非お訪ねになることをお勧めいたします。また「炉端の会」にもご加入いただき一緒に日本民家園で人生を遊ばませんか。楽しいですよ!



▲左より 山本さん、赤木さん、関さん、赤木さん、赤松さん、堀内さん、中島さん、近藤

「日本民家園」「炉端の会」の詳細は各ホームページをご覧ください

アートと科学の融合を目指して...

プロフィール

1960年津山市生まれ
女子美術大学芸術学部造形学専攻卒業
特許庁審査第一部(意匠)初代資料調査員
大塚国際美術館プロジェクトにて名画制作
美術教育に携わる一方、国内外にて芸術活動を展開
2010年よりNPO日本臨床美術協会
公認登録団体第5号『林檎の会』代表
2015年津山にて『美作クリニカルアート』を発足
NARDアロマセラピスト・アロマインストラクター



河本 倫子氏
(昭和54年卒)

臨床美術*(クリニカルアート)は、独自のアートプログラムに沿って、絵画や立体造形などの創造的な活動を行うことにより脳機能の活性を促し、認知症の症状が改善されることを目的としてわが国で開発され、1996年に医師・美術家・ファミリーケアアドバイザーがチームとなって、実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を越えたアプローチが特徴という、アートセラピーの先進国にも例を見ない先駆的な取り組みといえます。その大きな特色として、上手に描いたり、作ったりすることが目的ではなく、造形を心から楽しむことにより、人間のあらゆる意欲と潜在能力を引き出す力があるといわれる『美術』が持つ本来の力を、臨床美術士が一人ひとりの対象者にそった働きかけをすることで、引き出していきます。現在では、介護予防事業など認知症の予防、発達が気になる子どもへのケア、小学校の授業「総合的な学習の時間」、社会人のメンタルヘルスなど、多方面で取り入れられ、生き生きと人生を送りたいと願うすべての人へ希望をもたらしています。

『林檎の会』は2009年の結成以来、臨床美術の社会普及を目指して活動しています。第2回東京国際科学フェスティバル企画参加が契機となり、『アートと科学の融合』をテーマに科学技術館にて「宇宙



テーマ「宇宙をアートしよう」

をアートしよう」など2016年9月まで計35回のイベントを催し1000人を超える3歳から80代の老若男女(含外国人)に臨床美術を展開、また2011年5月より東日本大震災復興支援healthaid活動参加、現在は『臨床美術彩球』と合同で復興庁「心の復興」事業(NPO医療ネットワーク支援センター主催)東日本大震災により埼玉県近郊へ避難されている方々への避難者支援活動を行っています。

*「臨床美術」及び「臨床美術士」は日本における(株)芸術造形研究所の登録商標です

代表取締役 / オーナーシェフ
フードプロデューサー
難波 秀行
Hideyuki Namba
namba@petaledesakura.com

レストランベタルドのサクラ
株式会社 さくら喫茶
〒245-0008 横浜市東区弥生台5-2
Tel.045-443-5876
Fax 東ヶ丘通 直通電話 Tel.045-443-5874
www.petaledesakura.com

あらゆる壁を収納に。
すえ木工
壁面収納

デニユード
denwood

RIM
特殊プラスチック成形・塗装
ISO9001 認証取得

代表取締役社長
須江 健治

株式会社 **すえ木工**
HP: http://www.suemokko.co.jp/
■本社・家具事業部【壁面収納・デニユード】
〒708-0861 岡山県津山市八出244-1
Tel (0868) 23-4481 Fax 23-4483
Mail: suemokko@suemokko.co.jp
■RIM事業部【樹脂成形・内外装ハーフ塗装】
〒708-0861 岡山県津山市八出493
Tel (0868) 23-4050 Fax 23-4978
Mail: suemokko.rim@suemokko.co.jp

ロイド・ABS・NK・CCS・DNV/GL 船級認定工場
鋳造・木型・熱処理・機械加工

株式会社 光岡製信所
代表取締役 **光岡 宏文**
Hirofumi Mitsuoka
(製造技術士) [UT-LEVEL 2]

【本社工場】 〒708-0857 Tel: (0868) 26-0145
岡山県津山市福力16 Fax: (0868) 26-5029
URL: http://www.mitsuoka.co.jp
E-Mail: hirofumi@mitsuoka.co.jp
mobil: 090-8719-3406

平成4年卒

平成5年卒

平成6年卒

関東同窓会役員・常任委員一覧 2018

会長 増田 美子(昭37年卒) 副会長 竹内 妙子(昭36年卒) 副会長 中島 純三(昭42年卒) 副会長 水田 潤子(昭46年卒)
 副会長(事務局長) 山本 大 (昭49年卒) 監事 佐菜 慎二(昭36年卒) 監事 泉 昭正(昭37年卒) 顧問 片岡廣治郎(昭35年卒)

総務担当委員 堀内 慎一(昭42年卒) 総務担当委員 植月 雅文(昭46年卒) 総務担当委員 永松 呉葉(昭48年卒) 総務担当委員 山田 雅義(昭50年卒)
 総務担当委員 広野 晃子(昭50年卒) 総務担当委員 松田 匡司(昭54年卒) 総務担当委員 早瀬 徹 (昭63年卒) 総務担当委員 日下 ゆりあ(平3年卒)
 総務担当委員 國井 美由紀(平4年卒) 総務担当委員 井上 昭徳(平6年卒) 総務担当委員 小谷 匠平(平11年卒) 総務担当委員 和田 有希(平22年卒)

卒業年	氏名
昭18	高橋 孜子
昭22	浮田 裕之
昭22	福井 富枝
昭26	小賀 由章
昭26	竹久 美与子
昭27	久本 昌夫
昭28	三宅 寛子
昭29	原 光穂
昭29	安藤 美恵子
昭30	金築 順子
昭31	白岩 良一
昭31	大谷 昌子
昭32	友保 隆晴
昭33	福原 毅
昭33	柿内 扶仁子
昭34	奥田 恭彦
昭34	岩下 尚子
昭35	高本 征治
昭35	馬場 史郎

卒業年	氏名
昭36	近藤 達也
昭37	斎藤 正子
昭37	黒田 悦司
昭37	大森 慎
昭37	山本 茂樹
昭38	澤谷 豊
昭39	衣笠 一成
昭39	安藤 淑子
昭40	草地 八寿郎
昭41	赤木 省三
昭41	高橋 伸昌
昭41	井上 幸恵
昭42	安藤 三男
昭42	天池 恵
昭43	神家 康博
昭44	栗二 公雄
昭45	木多 務
昭45	福田 正志
昭45	高畠 範真

卒業年	氏名
昭46	檜尾 守昭
昭46	大河原 優子
昭47	有吉 啓子
昭47	原 雅彦
昭47	谷岡 宏
昭48	菱川 英章
昭49	林 敏彦
昭49	松下 いづみ
昭50	額田 洋一
昭50	山本 博文
昭50	田和 一樹
昭50	幡上 敬子
昭51	佐竹 康宏
昭51	岡田 恵子
昭52	角南 元司
昭53	阿部 達彦
昭53	山口 ゆりか
昭54	河本 倫子
昭55	内田 達也

卒業年	氏名
昭56	山本 進
昭56	石田 徳子
昭56	久保 明美
昭57	照尾 彰教
昭57	杉原 隆世
昭58	神橋 一彦
昭58	後藤 かおり
昭59	安田 明弘
昭59	片山 政周
昭60	枝並 輝之
昭60	山本 敏伸
昭61	黒田 俊恵
昭61	芦田 将
昭62	岡野 洋士
昭62	谷口 太郎
昭63	小山 将良
昭63	繁定 正典
平2	中西 孝
平3	谷口 聡

卒業年	氏名
平3	宇那木 孝俊
平4	日下 康幸
平4	花村 浩二
平4	坂本 匡史
平4	北山 栄美
平5	徳田 泰二
平5	久常 健
平5	磯田 暁男
平5	山縣 政宏
平6	若山 圭介
平8	日上 多聞
平14	宮島 聡子
平22	西本 卓司
平26	日笠 比咲子
平28	藤田 太郎
平28	石村 遼太

■ 常任委員ご不在の年度の方は、早急に常任委員を決定しご連絡ください。 ■ 同期の方の住所等についての問い合わせや住所変更などの連絡は、事務局へお願いします。

ご案内

津山高校全体同窓会総会・懇親会

新しくできたホテルでの開催です。
 帰省されるかたはお誘いあわせの上ご参加ください。

日時:2019年8月11日(日)

13時から総会 14時から懇親会

会場:ザ・シロヤマテラス津山別邸 津山市山下30番地1

会費:男性10,000円 女性7,000円

幹事:46期・47期

問い合わせ先:津山高校同窓会担当

植月透事務局長

TEL 0868 (22) 2204

「ふるさと作州の集い」

首都圏在住の作州出身者の集いが開催されます。

日時:2019年11月4日(月・振替休日)

11時30分から(開場11時) 当日参加もOK

会場:東海大学校友会館

千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35F

会費:7,000円 ※30才以下 3,000円

問い合わせ先:津山広域事務組合

TEL 0868(24)3633

主催:ふるさと作州のつどい実行委員会

代表取締役社長
若山 圭介

本社
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-1
 TK新都心ビル 10F
 TEL 03-5909-7145
 FAX 03-5909-7146
 E-mail:k.wakayama@wprosp.co.jp

SOEIホールディングス株式会社
 双栄基礎工業株式会社
<http://soei.tokyo/>

津山・岡山県北の今を読むなら

津山朝日新聞

夕刊紙・月刊紙
津山朝日新聞社
 広告・ちらし全般・自費出版

〒708-0052 岡山県津山市町田13
 TEL:0868-22-3135 FAX:0868-24-3184

明治24年以降の歴史を刻む岡山県出身者の寮

- 冷暖房完備、広い個室、スポーツ施設併設
- 2食付で安い寮費など、学生生活環境が整っています

公益財団法人 **鶴山館**

〒202-0013
 東京都西東京市中町 5-10-8
 ☎042-422-5951





謹んでお悔やみ申し上げます

2018年3月から2019年2月までに文書でお知らせのあった方のみを掲載しています

昭和15年卒 佐々 匡様	昭和25年卒 中江 稔様	昭和30年卒 永滝 勉様	昭和33年卒 菅田 清史様
昭和17年卒 友保 伊弘様	昭和26年卒 安藤 清一様	昭和30年卒 田邊 容子様	昭和34年卒 吉野 鈴子様
昭和22年卒 飯田 茂彦様	昭和26年卒 松本 紀夫様	昭和31年卒 今井 瑛様	昭和35年卒 久本 恭子様
昭和22年卒 田中 定巳様	昭和27年卒 井家上隆幸様	昭和32年卒 根本 豊治様	昭和39年卒 山田 一善様
昭和23年卒 浅野 亮様	昭和27年卒 久本 昌夫様	昭和32年卒 山田文四郎様	昭和46年卒 池田 剛様
			昭和46年卒 井汲 修司様

2019年度関東同窓会総会・懇親会のご案内

幹事年が新しい同窓会を模索し企画いたしました。
お誘いあわせの上ご参加ください。

- 日時：2019年9月28日(土)12時～
- 会場：Nagatacho GRid 6階
(地下鉄半蔵門線・南北線・有楽町線永田町駅4・9b出口徒歩2分)
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3
- 会費：5,000円(会員および同伴者※) 学生(同窓生)無料
※未成年の同伴者：中学生以上2,000円 小学生以下無料

ホームページ委員会

ホームページの充実とスムーズな更新を目指して、ホームページ委員会が発足いたしました。

ホームページに関してのご意見・ご要望等がございましたら、事務局までお寄せ下さい。委員会で検討させていただきます。

- 委員長：井上昭徳(平6卒)
副委員長：堀内慎一(昭42卒)
委員：小谷匠平(平11卒) 和田有希(平22卒)
藤田太郎(平28卒) 石村遼太(平28卒)

関東同窓会ホームページについて

Webにて関東同窓会を紹介しています。パソコン・スマホからホームページをぜひチェックしてみてください。

関東同窓会公式サイト
<http://tsukou-kanto.com> (パソコン・携帯共通)
津山高校関東同窓会

QRコード



ホームページから同窓会の出席の連絡が行えます。

同窓会費納入のお願い

本同窓会は皆様が入り込んでくださる会費で運営されています。会費納入をしてくださっている同窓生の皆様のご協力に感謝いたします。本会の安定的な運営ができますよう会費の納入のご協力を引き続きお願いいたします。

編集後記

関東同窓会会報第4号をお届けいたします。60周年記念の総会・懇親会も終え、令和元年の新たな一歩となるよう編集委員一同努力して参りました。

本年は津山のニュースから作州のニュースへと広げ、また、読み物的内容も充実させております。ご意見、ご要望をお待ちしております。
(堀内慎一)

〈編集委員〉

編集委員長：水田潤子(昭46卒)
編集委員：竹内妙子(昭36卒) 堀内慎一(昭42卒) 植月雅文(昭46卒) 永松呉葉(昭48卒) 山本大(昭49卒) 松田匡司(昭54卒)
日下ゆりあ(平3卒) 國井美由紀(平4卒) 井上昭徳(平6卒) 小谷匠平(平11卒) 和田有希(平22卒)
オブザーバー：片岡廣治郎(昭35卒) 泉昭正(昭37卒) 中島純三(昭42卒)
表紙題字：光井一輝(平27卒)
表紙写真：井上博津山高校教諭

津山高校関東同窓会だより 第4号2019年 発行人 増田美子

義捐金のご報告

2月29日までに皆様からお寄せいただきました義捐金の総額は732,500円となり「平成30年7月豪雨災害義援金」として日本赤十字社へ送らせていただきました。多くの皆様の温かいご厚情とご協力に心より御礼申し上げます。一日も早い復興を願うご報告をさせていただきます。

ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業についてのご案内

岡山県では、平成29年4月から、ふるさと納税制度を活用し、母校(県立学校)を応援する「ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業」を始めました。この事業では、学校を指定して寄附していただき、各学校の寄附金活用プランに基づき、よりよい学校環境の充実に活用されます。

- 津山高校 寄附金目標額1,500万円
- 実施期間 2018年度～2021年度(4年間)
※詳しくは津山高校ホームページをご覧ください。

関東同窓会だより広告募集

関東同窓会だより5号の広告を募集いたします。

- サイズ：横6.2cm×縦3.8cm
- 協賛金：一口5,000円
※詳しくは事務局までお問い合わせください。

作品展への出品のお願い

今年も恒例の総会会場での作品展を開催します。絵画・書・陶器・写真等、皆様奮って出品をお願いいたします。

- 作品サイズ
絵画：10号程度 書画：軸装で半切程度
陶器：5点位まで
- 申込み締切り：2019年8月31日
※詳しくは事務局までお問い合わせください。